



議会だより

なよろ

26

No.

2012 .11 .1 発行



「2012 スポーツフェスティバル」が、10月8日の
体育の日に開催され、大勢の市民の皆さんが参加
していました。



ゲートボールを楽しみ
ながらもするどい視線

幼児から高齢者まで
幅広い年齢層の市民
が参加し行われた体
力テスト



晴天の下練習をする名寄
ピヤシリソフトテニス少
年団の子どもたち

第3回定例会

定例会で決まったこと・審議日程	2
決算審査特別委員会・議員協議会	3
一般質問に9人・議会スナップ	4 ~ 8
各委員会視察報告	9
各委員会活動報告	10
議会日誌	11
きぼう・可決された意見書・第2回定例会・編集後記	12

第3回定例会 9月5日から9月28日までの24日間

～駅前交流プラザ「よろーな」条例の制定を提案～ 平成25年4月オープンを目指す

平成24年第3回定例会は、9月5日から9月28日までの24日間開かれました。

議案審議では、条例案8件、補正予算案8件、平成23年度決算の認定案11件、報告4件、意見書案3件を審議しました。

一般質問は、9月19日、20日、21日の3日間行われ、9人の議員が市政の課題について質問しました。

主な条例

駅前交流プラザ「よろーな」条例の制定

名寄駅横に、市民の交流推進並びに交通機関利用者の利便性を図るとともに、観光情報を発信し、にぎわいを創出することにより、商工業の発展及び中心市街地の活性化に寄与することを目的とした施設を設置するために必要な条例を制定する。平成25年3月完成、同年4月オープンをめざす。経済建設常任委員会に付託し、閉会中の継続審査とした。

名寄市国民健康保険税条例の一部改正

名寄市国民健康保険事業の安定的な運営を図るため、後期高齢者支援金分と介護納付金分の拠出超過を解消しようと、名寄市国民健康保険税条例の改正を行うもの。運営を圧迫する拠出金の超過解消を主な目的とするが、低所得者層への負担増を抑えるため均等割、平等割を圧縮するほか、持ち家の年金所得者に配慮し、基礎賦課分の資産割を調整するために条例の一部を改正する。市民福祉常任委員会に付託し、閉会中の継続審査とした。

なよろ市立天文台条例の一部改正

天文台がオープンして約2年半が経過し、この間、「通常料金」と「名寄市民特別料金」の確認作業に時間を要し、入館者に不快感や違和感を与えており、料金設定について見直すべく条例の一部改正を行うもの。天文台の利用に關しての新たな基準の設定も盛り込まれ、利用者の利便向上を図る。総務文教常任委員会に付託し、閉会中の継続審査とした。

主な補正予算

青年就農給付金675万円を追加

新しく創出された国の支援制度により、新規就農者の農業経営が軌道に乗るまでの間を支援するため追加した。

名寄南小学校校舎・屋内運動場基本設計委託料2,300万円を追加

名寄南小学校と名寄豊西小学校を廃止し、新たな校舎、屋内体育館建設に係る基本設計委託料を追加した。

備荒資金組合超過納付負担金2億円を追加

今後予定される大学図書館等の強化充実にかかわる財源確保及びこれに係る起債償還に対応するため追加した。

審議日程

9月5日(水)	9月26日(水)
・開会	決算審査特別委員会
・委員長報告	9月27日(木)
(付託議案)	決算審査特別委員会
・行政報告	9月28日(金)
・議案等の審議	決算審査特別委員会
決算審査特別委員会	・委員長報告
9月19日(水)	(付託議案)
・一般質問	・議案等審議
9月20日(木)	・意見書案審議
・一般質問	・委員の派遣審議
9月21日(金)	・議員・委員の派遣報告
・一般質問	議会運営委員会
議会運営委員会	・閉会
議員協議会	
9月25日(火)	
決算審査特別委員会	

平成23年度 決算審査特別委員会

平成23年度決算を認定

第3回定例会において、全議員をもって構成する平成23年度決算審査特別委員会を設置し、直ちに当委員会に付託された。

第1回委員会を9月5日に開催し、委員長に佐々木寿委員、副委員長に上松直美委員を選出した。

第2回目以降は、9月25日から28日までの4日間の実質審査に入り、各会派の代表による総括質疑並びに委員による質疑が延べ38名の委員、133項目にわたって、行財政改革、生活・環境、福祉行政、教育、病院事業等、身近な課題や「まちづくり」に直接関係のある発言がなされ、将来に向けての課題、継続事業や新規事業を明らかにするとともに、適正な予算執行にかかわって慎重に審査を行った。

審査の結果、全会計決算中、一般会計及び国

民健康保険、介護保険特別会計については、賛成多数により、その他の後期高齢者医療、市場、食肉センター、下水道、個別排水、簡易水道の6特別会計と病院事業会計は全会一致で、また、水道事業会計資本剰余金の処分及び決算の認定も全会一致で認定した。

委員会としては、各会計決算はいずれも正確な収支が行われ、予算の執行が適正であったことを認め結審した。



佐々木寿委員長（左）と上松直美副委員長（右）

議員協議会

議員協議会(仮称)市民ホールについて協議

名寄市議会議員協議会が9月21日に開催され、(仮称)市民ホールの基本設計に係る進捗状況と管理運営業務委託候補事業者の選定について報告が行われた。基本設計に係る進捗状況では、パブリック・コメント手続きの実施結果について説明があり、7件の意見が寄せられ、検討の結果、素案の修正は行わず原案通り策定することとしたと報告があった。

管理運営業務委託候補事業者の選定については 求められる公共ホール 自主企画事業 地域連携・まちづくりへの貢献 効率的な運営 多様な情報発信手段の5項目を企画提案の課題として募集した結果、株式会社エフエムなよろ

1社から応募があり、選考委員会において業務委託候補事業者に選定したとの報告があった。議員からの、ソフト面を充実させるための体制作りと事業内容決定のスケジュール、委託候補事業者の評価点に対する市の認識などについての質疑に対し、複数の文化関係団体を組み合わせた組織体制でのソフト事業の展開を想定しており、年内にも一定の方向を示したい、一定の基準を満たした中での評価点であり、合格点と認識している等の答弁があった。



質疑応答が展開された議員協議会

一般質問



入居基準は明確化する

市民連合・凜風会
佐藤 靖 議員

4団体の入居について

問 来春、JR名寄駅横でオープンする仮称・複合交通センターに商工会議所他3団体が入居するが、市の機関である消費者センター以外は地方自治法149条に基づく担当事務だけに根拠を求めるのではなく、せめて規則や要綱を定めて市民も理解できる入居とすべきではないか。

答 入居3団体とは、覚書もしくは協定書などで事務事業用途にかかわる取り決めを行いたい。協定の根拠を明示するものは必要と認識している。

各種課題の対応は

問 名寄市新エネルギービジョンの基本方針及び地域自治のあり方、地域連絡協議会事業の

拡大策、さらには名寄市立総合病院の今後の経営見通しについては。

答 新エネルギービジョンは年度内に策定を目指し、来年モデル実証などに取り組む。地域自治等については、現在行っている町内会アンケート結果を踏まえ検討する。市立病院では、診療報酬、医師の充足、大型医療機器整備、精神科病棟の政策が課題として挙げられる。財政的には厳しい見通し。救急救命センターは、施設要件は満たしているが、医師等スタッフ確保が課題だ。



来春のオープンを目指す仮称・複合交通センター



子ども達の安全対策を

公明
高橋 伸典 議員

通学路の安全対策

問 全国小学校通学路緊急合同総点検の結果と対策、児童生徒の自転車乗用時のヘルメット着用の徹底の考え方は。

答 安全確保要望のあった危険カ所に警察・関係する道路管理者・地域住民と合同点検を実施し、信号機や横断歩道、歩道整備、標識など危険カ所14カ所あり、整備要望もあるが事業費などの関係から早期対応は難しいが、要望カ所の改善に最大限努力するとともに、危険カ所の街頭指導の強化、交通安全の指導の徹底、通学路の点検や安全マップの危険カ所を見直しながら、子ども達の安全確保に努めていく。自転車通学時以外もヘルメット着用を指導する。

条例制定の拡大を

問 地域主権一括法の本格施行により、地方の実情を踏まえた独自性の条例を住民目線で義務付け、枠付けの見直しが必要と考えるが。

答 裁量の余地を広げ、地域の実情にあった基準を定めることを可能とした。その内、市営住宅は、空き家率2.8%と低く、応募者の約85%が生活保護者で住宅に困窮する低所得者の入居が困難な状況。独自の基準設定を織り込む必要性を含め、13年4月に条例制定作業を進めたい。



ヘルメット着用

一般質問



子ども達の未来のために

市政クラブ
山田 典幸 議員

いじめ問題について

問 小中学校におけるいじめが社会的な問題となっている。当市におけるいじめの実態と今後の対策は。

答 本年5月に市内小中学校全児童生徒を対象にした調査において「いじめられたことがある」との回答が122件あり、本人に事実確認の結果、3件をいじめとして認知をした。その後の対応で2件は解消し、残り1件は学校と教育委員会が連携し解決に向けて取り組みを継続している。今後も学校や保護者とも連携を図りながら未然防止、早期発見、早期対応に努めると共に、「いじめは人間として絶対に許されない」という意識を全ての児童生徒が持つよう徹底していく。



具体的な対策を

市民連合・凜風会
竹中 憲之 議員

市内バスの安全対策を

問 コミュニティバス運行がされ2ヶ月が経過し、コミュニティバスの停留所が45カ所設置されているが、交差点付近及び車道幅員が狭い箇所の乗降客と車両の安全対策は。また、冬期間の除雪も含めた安全対策は。

答 前年同期比で、コミュニティバス2路線で乗客は減である。運行にかかわる安全対策は、利用者の安全を第一に運行会社に指導を行っており、幅員の狭い場所や交差点等では徐行で安全を心がけ、停留所での停車は渋滞を防ぐため、交差点内に車両がかからないよう安全な場所に停車し、乗客の安全に配慮することとしている。冬期間の除雪を含めた安全対策は、除雪担

気象変動に対応した農地の基盤整備について

問 本年の5月から6月にかけての干ばつに対応できるよう、畑地かんがい事業の実施を今後検討していくべきでは。

答 昨年、畑地かんがい事業に関する意向調査を行ったが、意向ありの面積が実施要件面積に届かなかった。今後、人・農地プラン策定に向けた地域の話し合いの中で、農地集積と合わせて基盤整備の意向も改めて確認していく。



名寄のすべての子ども達が笑顔で成長できるように

当課とともに検証することとしており、一層の交通安全に注意をしていく。

資源ゴミ持ち去り対策

問 資源ゴミ（有価物）の持ち去りが増加しているが、どのような対策を講じているのか。

答 資源回収に出された物が承諾なく持ち去られるとの苦情が寄せられ、早朝パトロール、追跡調査を行い注意を促している。希望の市民には「名寄市に出した資源物持ち去り禁止」のステッカーを配布し、未然防止に努めている。



市では「持ち去り禁止」ステッカーを希望者に配布

一般質問



もっと観光に力を

市政クラブ
川口 京二 議員

■ ひまわり観光について

問 今後のひまわりを中心とした観光の取り組みと考え方について。

答 映画ロケセットについては、費用対効果等を考慮し今シーズンをもって取り壊すことになった。今後については、「食」や「コスメ」など他の視点を加えることにより、新たな取り組みを行う予定。来シーズン以降は、さまざまな視点に基づいた可能性について検討し、取り組み方針等について、関係機関と協議をしていく。

■ となみが丘霊園の整備について

問 園内の道路幅が狭く危険なため、道路を拡幅し、駐車スペースを設けることができないか。

答 園内道路は、幅が狭く、傾斜がきついため

車両走行は、原則一方通行でお願いしている。霊園内を通行する車両の安全運行のための分かりやすい順路標示やお参りをする方々の利便性と安全性の確保が、重要であると認識している。通行等の指示板の設置や道路の拡福、あるいは駐車スペースの確保等お参りに来る方々の方々の利便性が図られるよう、今後検討し実施をしていく。

他の質問・(仮称)市民ホール建設にあたり、文化センターと浅江島公園の整備他



取り壊しとなった映画「星守る犬」のロケセット



河川警報の自動化を

市民連合・凜風会
日根野 正敏 議員

■ 氾濫河川に自動警報発信

問 今年、風連日進地区や風連地区^{むめい}無名川で、集中豪雨のため、排水や河川で水が溢れ一歩間違えれば大きな被害が出たかもしれない。特に、夜半から未明にかけての集中豪雨は、対応が手薄になるため氾濫被害の危険性がある河川には、警戒水位自動発信機を設置すべき。

答 河川水位の上昇については、パトロールでの状況把握にも限界があり、客観的に把握する体制を構築するため水位計等の設置を関係機関と協議を進めていきたい。

■ 鳥獣被害防止について

問 ヒグマの被害が相次いだ東風連、旭地区だが、その対策と同地区を流れる風連別川堤内が

ヒグマの移動、生息場所と考えられるため、堤内雑木の伐採依頼を強く求める。また、年一度6月に簡易調査している鳥獣被害額を市として正確に把握すべき。

答 熊の捕獲体制強化のため、箱ワナを増設し捕獲に努めていきたい。毎年、河川の雑木等の伐採を所管の土木現業所に要請をしている。今回ヒグマが頻繁に現れるようになってからもお願いをしている。毎年の被害調査については、しっかり調査して正確を期していきたい。

他の質問・教育委員会所管の公共施設について



風連市街地区からの水が一気に集まる無名川

一般質問



最優先はまず安全対策

市政クラブ
佐々木 寿 議員

■通学の安全対策推進

問 文科省の通学路の危険カ所の実態調査と対応は。また、学区変更に伴う通学路の安全確保のための点検と整備対応について。

答 文科省、道教委の通知に基づき、通学路の危険カ所を警察、道路管理者、地域住民と7月26日、8月21日に合同点検し、信号機、踏切、歩道等の整備カ所14カ所あったが、多額の予算となり早急な整備は難しい。旭ヶ丘、南ヶ丘からの通学路も実視し、通学路の安全について、保護者、地域の方々、道路管理者等と協議し進めていく。

■空き家条例制定を検討

問 危険家屋となって放置されている空き家



施設の維持と処分は

新緑風クラブ
山口 祐司 議員

■行政財産の管理・処分

問 老朽化していく施設の維持管理及び処分の進め方と情報の提供は。

答 風連地区市街地再開発事業に伴う母と子と老人の家、旧国保診療所解体は、空き地整備での交付金で取り壊しており、補助金適化法で8年間は転用できない。こうした状況等における情報提供のあり方を含め検討したい。

■成年後見制度の対応

問 改正老人福祉法で市町村の努力義務となった成年後見人の養成と活用、今後における市の対応は。

答 市民後見人は専門職ではないため、受任後も専門職のフォローアップを求められ、後見実

の対策について、条例化を含め見解は。

答 当市は、少子高齢化、核家族化で空き家が増加経過にある。放置空き家は景観上、防犯上、冬季の落雪等で危害が懸念され、住民や町内会から苦情もあり、対策に苦慮している。このような不安を解消し、具体的対策をするため、他市の施策を検討し、条例制定に向け進めて行く。他の質問・過疎債、合併特例債期限延長に伴う対応・タブレット導入・図書室の活用・PTA会費等の不適切な支出・生活保護の扶養義務者



通学路整備が求められる旭ヶ丘地区

施機関も必要だ。ニーズや先駆的な市町村の取り組みを調査研究したい。また、関係団体との連携は、日常生活自立支援事業との関係もあることから、社会福祉協議会との連携を密にするとともに、日ごろ、支援が必要な方とのかかわりが深い民生委員などとの連携を図り、日常の相談支援業務を通じて利用促進が図られるよう努める。市民周知は、広報掲載や一般市民を対象とした講演会なども開催する。

他の質問・冬期節電計画・環境美化対策



解体後8年間転用できない国保診療所跡地

一般質問



地域住民と一緒に考えて

日本共産党

川村 幸栄 議員

10月広報で申請書配布

問 東日本大震災から1年半。防災への意識が高まっている。市の防災計画では「災害時要援護者に十分配慮し、地域において（中略）支援する体制が確立されるよう努める」「男女のニーズの違いなど男女双方の視点に十分配慮する」とある。災害時に避難の支援が必要な方や災害弱者への対策、食料等物資供給計画、子どもたちへの防災教育についてうかがう。

答 災害時要援護者支援制度を進めるために、パンフレットと登録用紙を10月広報で配布。申請できない方については、地域と連携し登録できるよう対応したい。災害弱者には、男女共同参画の視点から女性職員の配置など配慮する。

風連日進小・中学校閉校

問 来年3月で閉校するにあたり、児童への通学や統合先の学校での対応、閉校後の校舎の活用と地域づくりについての考えは。東京杉並区との連携で、定年退職者などを農業体験で受け入れるなど、豊かな地域性を活用してはどうか。

答 スクールバスの事前試乗は必要と考える。さまざまな切り口で移住・定住を進める必要がある。横断的な組織の中で協議したい。

他の質問・名寄大学短大部の4年制化の考え方



地域のみなさんの協力を得て児童たちが作成したモニュメント

議会スナップ

林活議連で下刈り作業

森林・林業・林産業活性化推進名寄市議員連盟（植松正一会長）では、健康の森に植樹した下刈りなどの手入れをしています。今年も、7月6日に行われ、汗を流しました。



ひと汗かいて記念撮影



風舞あんどんに参加

お盆の8月13日夕、名寄市議会議員有志16人が『第34回風連ふるさとまつり』に初めて参加しました。この日は、あいにくの雨となりましたが、議員有志は巨大なあんどんを押して市役所風連庁舎前を出発、駅前中心部を練り歩きながら観客と共に氣勢を上げていました。

総務文教常任委員会視察報告

鹿児島県霧島市・長崎県諫早市・ 熊本県玉名市

委員会視察は7月2日から5日まで行い、最初に鹿児島県霧島市を視察。地域まちづくり支援事業は平成17年市町村合併後の地域支援として地域の特徴を活かし、独自のテーマや目標を設置し、その実現に住民がお互いに協力し、活力ある個性豊かな自立した地域づくりに取り組む地域に対して支援する事業。ハード・ソフト事業に対して助成金を5年単位で助成すると共に市職員のサポートを受けられるもの。

次に長崎県諫早市にて、地域づくり協働事業について市町村合併により従来の地域活動を平準化するため、地域で体育祭や伝統文化の継承事業ほか地域づくりに関わる事業に地域住民によるまちづくり協議会を設置し対応している。また、各地域の事業に行政から助成金を地域ご

とに支援して地域の自主的な運営と地域住民の関わり合いを目標に地域活性化協働事業を進めている。

最後に熊本県玉名市を視察。玉名21の星一区一輝事業は市町村合併後21地区小学校区をコミュニティの単位として校区住民自ら考え自治自立と活性化を促進する事業。校区ごとにまちづくり委員会を設置し、歴史、史跡、資源等の特徴を活かしまちづくりと地域環境、防災、防犯に取り組んだまちづくり事業に助成金を支援するもの。以上各視察先ともまちづくりの先進地に共通していることは、地域と行政が一体となって取り組んでいることである。



地域活性化協働事業を学んだ

経済建設常任委員会視察報告

津別町・足寄町・鹿追町・ 札幌市・沼田町

視察は7月17日より3日間で、自然エネルギーの活用をテーマに、道内5市町を視察。

津別町では「津別単板協同組合及び丸玉産業の工場内で排出される端材ハブイを活用して環境型バイオマスグリーンサイクルシステムを視察。熱源と電気エネルギーを工場内に供給、原油換算で24,000㎏/年の化石燃料を削減した。

足寄町では、原木処理後の端材を活用して木質ペレットを生産している。とかちペレット協同組合の700トンの木質ペレット生産、町庁舎及び公共施設と一般家庭への供給事業を視察した。

鹿追町では、家畜糞尿・生ゴミ・汚泥処理施設、環境保全センターを視察。バイオマス・堆肥化・コンポスト化プラントの3施設からなり、2基の発電機で215万キロワットを発電、使用残量は売電、約850万円の収入となっている。

また、メタン発酵後の消化液等は農家に還元しているとの説明があった。

札幌市では、モエレ沼公園ガラスのピラミッド雪氷冷熱施設を視察。鉄筋コンクリート造り3階建て、延べ床面積5328を冷房。雪貯蔵庫は3160で春に公園内の雪が搬入される。

沼田町では、沼田式雪山センターを視察。低コストで大量の雪を貯蔵する方法として野外堆積し、バーク材やもみ殻で被覆（ひふく）する方法で、沼田式雪山と呼ばれ各家庭へ供給している。



津別単板協同組合を視察（津別町）

委員会活動をお知らせします

総務文教常任委員会

委員会は、8月31日に開催した。最初に名寄市災害時における相互支援に関する条例の制定について、災害時援護者個別計画の取り組みについて、自治体クラウド・モデル団体支援事業の事業実施助成について説明を受けた。次に名寄市立大学社会福祉学科における精神保健福祉士養成課程の新規指定申請について他2件、次

になよる市立天文台条例の一部改正（案）について、ふうれん地域交流センター、名寄市公民館条例について、仮称市民ホールの進捗状況、教育委員会の評価報告書についてそれぞれ説明を受けた。



市民福祉常任委員会

委員会は、8月8日、20日、9月3日に、第2回定例会で付託された名寄市高齢者自立支援事業条例の一部改正の審査を行い採決の結果、原案通り可決すべきものと可決した。7月19日の委員会では、欠員となった副委員長の互選を行い、指名推選の結果、東千春委員を全会一致で副委員長に選任した。その他、総合病院の

精神科病棟の改築は、本年12月に着工し平成26年度末に事業の完了予定。一般廃棄物最終処分場の広域化について名寄、美深、下川、音威子府による広域化は、平成30年4月までに実施予定。



経済建設常任委員会

委員会は6月25日から8月30日までに4回開催し、建設水道部所管の 地域主権改革一括法条例改正 廃棄物処分ガイドライン 都市公園条例改正 除雪ドーザー更新 市営住宅明け渡し請求及び滞納家賃問題（仮称）複合交通センターの外壁色 上下水道事業中期経営計画最終報告 水道事業会計資本剰余金処分

一般・特別会計補正予算。経済部所管の（仮称）複合交通センター トムテ文化の森問題（仮称）複合交通センター条例制定 一般会計補正予算。

主要作物作況調査及び建設工事視察。



作物の作況調査をする委員（智恵文東部）

議会運営委員会

今年6月の定例会以降、議会運営にかかわり7月31日、8月20日、8月30日、9月21日の4回委員会を開催した。

委員会では、第2回臨時会（7月31日）、第3回定例会（9月5日から28日）の会期及び日程、議案ほか平成23年度決算審査特別委員会設置等について協議決定した。

また、8月20及び9月21日の委員会では、議会基本条例第10条「議決事項の定め」の一部改正を確認するとともに、今後、委員会で長期欠席議員の報酬減額条例の制定 予算及び決算審査特別委員会の正副委員長のあり方 議員の議案採決の公表 地方自治法改正に伴う通年議会、政務活動費について等に関し協議を行い、早ければ12月の第4回定例会、遅くても平成25年第1回定例会まで方針を出すことを確認した。

議会日誌

- 6月18日 ・姉妹都市提携40周年記念リンゼイ親善訪問(カナダ)～26日
 ・各会派代表者会議
- 20日 ・議会報特別委員会
 ・群馬県大泉町議会行政視察来庁
- 25日 ・経済建設常任委員会
- 27日 ・愛知県豊田市議会行政視察来庁
 ・広島県呉市議会行政視察来庁
 ・道道名寄遠別線建設促進期成会定期総会(遠別町)
- 7月4日 ・奈良県大和郡山市議会行政視察来庁
 ・福井県鯖江市議会行政視察来庁
- 5日 ・全国市議会議長会基地協議会第77回理事会(東京都)
 ・愛知県瀬戸市議会行政視察来庁
 ・熊本県山鹿市議会行政視察来庁
- 7日 ・自衛隊旭川地方協力本部創立6周年記念行事(旭川市)
- 10日 ・茨城県土浦市議会行政視察来庁
- 11日 ・岩手県北上市議会行政視察来庁
 ・福井県敦賀市議会行政視察来庁
- 12日 ・平成24年度各種期成会夏季合同中央要望(東京都)
 ・陸上自衛隊名寄駐屯地体制維持・拡充に関する中央要望(東京都)
- 18日 ・宮崎県日南市議会行政視察来庁
- 19日 ・全国市議会議長会産業経済委員会正副委員長会議・委員会(東京都)
 ・市民福祉常任委員会
- 27～28日 ・議会報告会
- 30日 ・全国市議会議長会基地協議会北海道支部役員会(恵庭市)
- 31日 ・議会運営委員会
 ・第2回臨時会
 ・市民福祉常任委員会
- 8月1日 ・千葉県袖ヶ浦市議会行政視察来庁
 ・山形県都留市議会行政視察来庁
- 7日 ・議会報告会班長、正副議長会議
 ・新潟県燕市議会行政視察来庁
- 8日 ・市民福祉常任委員会
- 9日 ・名寄駐屯地増強促進期成会要望
- 16日 ・沖縄県那覇市議会行政視察来庁
- 17日 ・上川教育研修センター組合議会平成第2回定例会(旭川市)
- 20日 ・市民福祉常任委員会
 ・議会運営委員会
- 21日 ・鳥根県安来市議会行政視察来庁
- 22日 ・経済建設常任委員会
- 23日 ・第6次ハイチ派遣国際救援隊帰国式典(旭川市)
 ・石川県白山市議会行政視察来庁
- 25日 ・第56回東京高円寺阿波おどり杉並区訪問(東京都)
- 27日 ・各会派代表者会議
- 30日 ・議会運営委員会
 ・議会報特別委員会
 ・経済建設常任委員会
- 31日 ・総務文教常任委員会
- 9月3日 ・市民福祉常任委員会
 ・各会派代表者会議
- 9月4日 ・上川北部市町村議長会(下川町)

用語解説

自治体クラウド・モデル団体支援事業

3・11東日本大震災により庁舎が流されたり、停電による情報システム障害や住民データが水没するという被害が発生。本事業は、地方公共

団体の基幹系業務システムを複数自治体や団体にて共同利用するコンピューティングが災害時の業務継続や情報保全に有効であることが再認識され、開発などの初期費用の負担軽減を図る。

(出典：財団法人地方自治情報センター)

☆ き ほ う ☆



農家1年生
名寄市智恵文10線北2 及川 雄一

私達家族は、今年2年間の研修を終え、農家になる事ができました。待望の農家デビューです。現在ひと通りの収穫を終える事ができましたが、思い返してみれば春から苦労の連続でした。

研修で沢山の事を教えてもらったはずでしたが、自分達だけで作業してみると「ド」のつく素人加減には自分でも嫌になりました。しかし、農業という仕事は楽しい。日本国内の農業情勢は年々厳しさを増していきませんが、農業は人間が生きて行く上で不可欠な職業です。

私は、この日本の大切な農業を自分なりに楽しみながら続けて行きたいと思っています。



勤福連を通じて
名寄市西11条南11丁目 米澤 尚弘

勤福連は、昭和51年に「市内の中小企業従業員の親睦交流と明るい職場づくりを推進し、それぞれの企業の発展に寄与する」ことを目的に17事業所17名の推進員によって始まりました。現在の活動は、ひまわりロードのボランティア、勤福連の集い全員集合、雪質日本一フェスティバル参加協力など様々な事業を展開しています。この会を通じて、多くの方々とであう事ができ、改めて、人とのつながりと相手への感謝の気持ちの大切さを学ぶことができたと思います。

今後も、推進員の仲間と会員の皆様と共に、当会の発展を目指して行きたいと思っています。

可決された意見書・決議

- ・自治体における防災・減災のための事業に対する国の財政支援を求める意見書
- ・道教委「新たな高校教育に関する指針」の見直しと地域や子どもの実態に応じた高校づくりの実現を求める意見書
- ・義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」の実現をめざし、就学保障充実など2013年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書

編集後記

▶今年の夏は、長かった。6月の末から、30度を超える真夏日が5日間も続き、9月の中旬を過ぎても真夏日があり、夜も温かい日が続いた。
▶普段は山の中にいるヒグマもこの暑さで、川を下り農村部まで降りて来てアイスクリーム代わりのスイートコーン。ひと晩で食べる量が半端ではなく、農家の人のはたまったものではない。来年は来ないで欲しい、お互いのためだ。▶市

＝ 第2回臨時会 ＝

平成24年第2回臨時会が、7月31日に開催された。

議案審議では、老朽化した除雪ドーザーの更新による財産の取得について審議され、承認した。



内では、「にぎわい、安心、夢」を乗せて次々と大型事業の着手がされている。駅横「よるーな」市民ホール実施設計、市立総合病院精神科病棟を含む大規模改築、どの事業も市民にとっては重要な将来のかかったもの、議会としても出来る限り叡智えいちを絞り議論をして行きたいと考えています。後は、皆さんに喜んで利用して頂くことが望み。 (日)

